

第5章 計画の推進に向けて

1 市民の参加による計画の推進

本計画の推進にあたっては、行政と市民や地域との連携により、地域社会が一体となって次世代育成支援を行うことが必要です。

市民一人ひとりも、役割や責任を理解し、地域全体での子育て支援の必要性について認識し、主体的に次世代の育成に取り組むことが重要です。そのために、計画の目的や、計画の推進状況等の情報提供を行い、市民への周知を図るとともに、より一層計画を推進する上での意見交換ができる環境づくりに努めます。また、地域で活動しているNPOや団体、市民のボランティア活動等の充実に向けて支援し、市民等との協働による計画推進を図ります。

2 庁内の連携による計画の推進

後期行動計画は、福祉、保健、医療、教育、労働、まちづくりなど、幅広い分野にわたる施策を総合的かつ効果的に推進する必要があるため、関係部局間の有機的な連携や緊密な調整を行い、全庁的な取り組みの充実を図ります。

3 関係団体・機関等との協働による計画の推進

すべての家庭を対象とした子育て支援を総合的に行っていくためには、市内外の関係機関、組織等との協働が不可欠です。

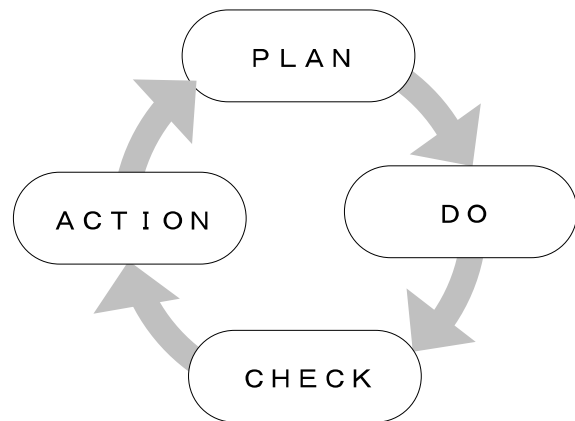
計画に掲げる取り組みについては、市が単独で実施できるもののほかに、制度や法律に基づく事業もあるため、国、県、近隣市との連携を深め、必要に応じて協力の要請を行い、計画を推進します。

また、市内の子育て支援に関わる地域団体やNPO、子ども相談センター、保健所、教育機関、警察等とも協働し、計画を推進します。

4 計画の進行管理（PDCA構築方法）

計画の適切な進行管理を進めるために、施策の進捗状況について把握するとともに、各種施策の推進や新たな課題への対応について検討し、今後の施策運営に役立てていきます。

また、市民ニーズへの的確な対応、社会情勢や国の動向の変化に適確かつ柔軟に対応するためにも、この計画の進行管理は、「PDCAサイクル」による「継続的改善」の考え方を基本とします。



P=PLAN（プラン）（この計画の具体的な事業など）

D=DO（ドゥ）（実行）

C=CHECK（チェック）（点検・評価）

A=ACTION（アクション）（見直し）

このサイクルは、個々の事業ごとにP→D→C→Aと回り、再度、見直し後のPにもどり、具体的事業の改善点を把握し、新たなサイクルを回していくことにより、事業の継続的な改善を図る（充実させる）ことを年度ごとに繰り返していきます。

そして、毎年1回、計画に基づく措置の実施状況について点検し、結果を市民に公表し、周知を図るとともに、住民の意見等とその後の対策の実施や見直しに反映させていきます。